令和５年度

学校だより
３月号

かわかみ

令和６年２月 29 日

横浜市立川上小学校
横浜市戸塚区秋葉町203－２　電話 811-9345　FAX811-5961

子どもたちが育ちを実感する学校～学び合いを通して育つ～

学校長　　堀部　尚久

柔らかな陽ざしに包まれ、木々の芽が一段と膨らみを増しました。春はもうすぐ目の前です。令和５年度も明日から最終月を迎えます。本年度の教育活動のまとめの時期となり、各学年では、当該学年で履修すべき学習内容を確かめながら学びづくりを進めるとともに、進級や進学に向けて心の準備を重ねているところです。子どもたちには、この一年間を振り返り、できるようになったこと、分かるようになったことをもとに、「確かな自信」がもてるようになったことは何か、進級や進学にあたってさらに磨きをかけていくことは何かなど、自分を見つめ、さらに成長していくために必要な準備や蓄えをする大切なひと月にしてほしいということを話しました。年度末のこの時期は、一年間の振り返りを通して、誰もが成長を実感し自分への自信をもつとともに、次の年に繋がる目標やめあてを見出す準備をしておくことが大切だと考えています。

２月１０日（土）に実施した「川上かがやき学習交流会」には、早朝より、たくさんの保護者・地域の皆様方にご参観いただき、ありがとうございました。子どもたちへの声掛けや温かい拍手は、大きな支えや励ましとなり、育ちの姿が実感される全校行事を創り上げることができました。

実施後にいただいた皆様からのアンケートには、「大きな声で分かり易くお話ししたり、身振り手振りを加えて、一生懸命に伝えようとしたりしている姿が、本当に微笑ましくほっこりした」「子どもが自分たちで調べ、発表の仕方を考え、見学している人たちにどうしたら興味をもってもらえるか等も考えていると感じた」「子どもの主体的な姿が見られる場で、一人ひとりの個性が光っており、見ていて嬉しくなり成長をはっきり確認できた」など、子どもたち「一人ひとりが輝く姿」を捉え、発表に対する見応えや聴き応えがあったという感想がたくさんありました。

また、「子どもたちがほかのクラスや学年の発表にも興味をもって楽しそうに聞いていて、とてもよいと思った」「グループで助け合い、盛り上げながら発表する姿に成長を感じた」「高学年の子が、他学年への感想を自分の経験をもとによかった点を述べていたことがとても印象的だった」「発表の後で、上級生が手を挙げて、積極的にどこがどんなふうによかったか感想を伝えている場面を目にし、川上っ子らしく縦割りの交流になっているのを感じた」など、見学や体験を通した他学年の友達との学びを介した交流が、互いを刺激し合い、みんなで一生懸命に高め合おうとする姿となっていたという視点で捉えてくださった感想も数多く寄せられました。

さらに、「発表する内容を事前に自宅で質問してきて練習している姿はすばらしいと思った」「発表に向けて、子どもたちがたくさんの準備や練習をしてきたことがよく分かった」など、当日を迎えるまでに、事前の取組から活動意欲をもって臨む姿にふれられた感想もいただきました。

目標やねらいをもち、全校が一丸となって一生懸命に取り組んだこうした姿に、お子様の成長を重ね、本校の子どもたちのよさを感じ取っていただいた皆様の声は、私たち教職員にとっても、成就感に繋がりました。学習交流会のスローガンで掲げた「伝え合い、学び合い、笑顔の花を咲かせよう」という、純粋で一途な川上小の子どもたちの思いが、準備や練習の姿となり、当日の交流を通して実現できたことが、今後「確かな自信」に繋がっていくことを楽しみにしています。

いよいよ、３月１９日（火）には、第１３２期卒業生として４６名が巣立ちの日を迎えます。卒業を前にしたこの時期、日替わりでグループに分かれた６年生と一緒に校長室で給食をいただきながら、川上小での思い出や進学したらやってみたいと思うこと、将来の夢や目標などを話題とし、束の間の楽しい時間を過ごしています。子どもたちの話を聞いて思うことは、川上小での学校生活を振り返るなかで、一人ひとりにかけがえのない価値ある思い出があるということです。行事や出来事としての思い出にとどまらず、その時々に、自分が何を思い、何を感じ、何を考え、そしてどのように向き合ってきたかという「想（そう）」を語る様子からも、身体の成長はもとより、心の成長を捉えることができます。さらに、様々な人とのかかわりのなかで、仲間としての友達や成長を支えていただいた多くの大人に出会えているということ、これからの中学校生活やたくさんの人との出会いなどを、本当に楽しみにしているということなども会話の中から素直に伝わってきます。これまで川上小の憧れであり続けた６年生が、こうした想いを胸に巣立ちの日を迎えようとしていることは、私たち教職員にとっても嬉しい限りです。６年生にとっては、川上小での６年間の学校生活で、仲間と共に学び身に付けてきたこと、できるようになったこと、そして多くの人たちに支えられてきたことなど、そのすべてがこれからの成長を支える「蓄え」となり「原動力」となっていくはずです。

３月は、これまでの教育活動を踏まえて、一人ひとりの子どもの育ちをしっかりと見取り、自信をもって進級できるよう支援していきます。ご家庭におかれましても、お子様の一年間の育ちを振り返っていただき、学習面や生活面、あるいは身体面や精神面、さらには友達関係の在り方など、成長として感じられたことを蓄えや原動力としてお子様にしっかりと伝えてほしいと考えます。そして、子どもたちが自分の成長を友達との比較ということではなく、自分自身の成長として捉えていくことができるよう、引き続きご支援をお願いいたします。